

平成27年度
十勝人チャレンジ支援事業採択者一覧

No.	チャレンジ人	勤め先	年齢	調査先/テーマ	事業概要	採択者市町村
1	ホンマ ユキオ 本間 幸雄	ありがとう牧場しあわせ チーズ工房 足寄町 酪農業・乳製品製造業	34	ヨーロッパ(フランス スイス) ヨーロッパ山岳チーズの 製造と食文化の視察研修	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在、季節分婉放牧酪農をおこなっており、季節による乳質の変化がとても激しいことが、安定製造をするための弊害となっている。また、青草を食べた牛たちから作るチーズの良さを伝えるマーケティング方法も不十分と認識。 ● 調査研究先は、いずれも山岳チーズの一大生産地であり、山岳酪農と伝統的なチーズ製造を重んじている。これらの地域の酪農、チーズ製造、食文化を理解し、また、価格、販路、山岳チーズに対する消費者の捉え方、消費方法なども調査する。 ● 放牧酪農と美しい景観のみならず、さらに「農村の魅力」を向上させるために、地域に山岳チーズを根付かせていくことを目指す。 	足寄町
2	カシハシ トモル 高橋 徹	十勝うらほろ高橋農園 浦幌町 農業	42	アメリカ 国内(余市、東京、秋田) 面積日本一から技術 & 経営日本一のラズベリー農家へ	<ul style="list-style-type: none"> ● ラズベリー栽培は、他の果樹と比し経費がかさむため、当農園では安価な栽培方法や収穫方法の体制を構築しているものの、価格や安定生産が確立されておらず、そもそも潜在市場はあるものの、利用文化が国内に成熟していないという課題がある。 ● 課題解決には、管理～出荷システムの機械化と新たな経営モデルの構築が必要。そのため、加工用のラズベリーの大幅なコストダウンを目的に、十勝地方に適したラズベリー収穫機を選定し、低コスト栽培の栽培体系を確立する。 ● 伸長するラズベリーの国内市場に対し、大型化と採算化を兼ね備えた地域としての先進事例を構築し、「十勝には国産ラズベリーがある」とPRすることで、担い手が減少している農業情勢の産業振興、観光促進に発展させたい。 	浦幌町
3	カシ ムネノブ 梶 宗徳	株式会社K's farm 帯広市 農業	41	台湾 6次産業化の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 台湾市場においては、観光客増加やチャーター便の整備などで追い風は吹いているものの、十勝地域においてはまだまだ対応は不十分であり、輸出への展開等機会を逃している状況。 ● 百貨店を中心に、スーパー、セレクトショップなどの売り場を調査し、パッケージデザインの分析を行い、販売価格や貨幣価値についての台湾人の価値観を研究。また、現地で6次産業化に取り組む農家への調査も行う。 ● 地域の先駆けとして台湾市場への調査に取り組むことで、十勝管内で同様に6次産業化に取り組む農業者の台湾進出への道を造り、十勝ブランドの定着を目指す。 	帯広市
4	ハタケヤマ ヒロユキ 富山 裕恵	浦幌町(地域おこし協力隊) 浦幌町 地方公共団体	30	国内(海士町、気仙沼市、軽井沢町) 高校生を対象とした社会に新たな価値を提供する人材育成についての視察と十勝での実践に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ● 十勝の若者が進学を機に都市部へ転出することで、地方の人口減少が加速している。これからは、地元で自ら仕事を創り暮らすことを考えるきっかけ、取り組みを実施する必要がある。 ● キャリア教育の先進地等で行われている、フィールドプログラム、イノベーション教育プログラム及びリーダーシップ育成プログラムへの参加。 ● 管内の高校生を対象に、十勝の企業・団体と連携して、教育プログラムを展開。将来的には、高校生のみならず、十勝出身で都市部に進学している学生を対象としたインターンシッププログラムも実施し、事業化を目指す。 	浦幌町